

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 技術・家庭（技術分野）

2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴
新しい技術・家庭 技術分野 東京書籍	<p>【観点1】技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術分野のガイダンスにおいて、技術の見方・考え方が「最適化の窓」として示され、生活や社会における技術の工夫に気付くように配慮されている。 ・段階的に技術の見方・考え方に気付かせるため、技術の最適化について扱う内容には「技術の天びん」マークが付されている。 <p>【観点2】問題解決的な学習が進められるよう配慮されており、生徒の興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の評価・改善、更に修正まで示され、実践報告として「生物育成の技術」、「エネルギー変換の技術」では、中学校の実践事例を掲載している。 ・生徒の発達段階に合わせて問題解決に取り組めるよう、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。 ・「問題の発見→課題の設定→設計・計画→製作・制作・育成→評価、改善・修正」といった一連の問題解決のプロセスを「問題解決カード」として問題解決に主体的に取り組むことができるように工夫されている。 <p>【観点3】実習例、課題の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」につながる場面として「活動」を数多く取り上げ、一連の学習過程の中に、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなどの場面が設定されている。 ・学習指導要領解説に示された「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の3つの要素に沿った章構成とし、学習が系統的に進められるように配列している。 <p>【観点4】写真、図表、資料等が適切であり、他の学習内容との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「材料と加工の技術」において、作業中の手元を拡大した写真を採用していて、技術の作業における詳細な部分まで見ることができる。 ・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成にしている。指導計画等に応じて活用できるよう、図表などの資料が充実している。 ・各編の導入や、随所に「他教科」マークを付して、中学校の他教科（理科、社会、保健体育、数学）との学習内容の関連を図り、教科横断的に学習を深められるようにしている。 ・技術者のインタビューコラムを「技術の匠」として掲載している。

教科書名 出版社名	特 徴
NEW技術・家庭技術分野 教育図書	<p>【観点1】技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2, 3章の構成を学習指導要領の項立てに対応させることで、生徒の発達段階に応じて技術の見方・考え方を、関心の喚起から技術の活用へと徐々に育まれるように工夫されている。 ・ SDGs や Society5.0 の特集を載せることで、情報社会に続く未来の社会像について生徒が考えることができるように配慮がされている。 <p>【観点2】問題解決的な学習が進められるよう配慮されており、生徒の興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習では、問題発見→課題設定→知識・技能を活用した課題解決に取り組む、一連の学習の流れから、技術の見方・考え方を形成することができるようにしている。 ・ 問題を解決する工夫について、実生活における課題を挙げ、その課題を克服するための具体例を示している。 ・ 「見つける」では、生徒がその学習で抱く疑問や関心を対話式で提示することで、学習への意欲を喚起するよう工夫されている。 ・ 実習題材の学習のまとめでは、「ふり返る」と明記し、学んだ意義や必要性を実感できるように配慮されている。 ・ 「スゴ技」や「技ビト」、「センパイに聞いてみよう」などのコラムを取り上げることで、生活や社会の技術について興味・関心を持たせる工夫がある。 <p>【観点3】実習例、課題の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に各項目のワークシート（切り離し式）を設け、1枚ポートフォリオのような簡潔な学習内容の記載ページがある。 ・ ものづくりでは作業に応じて安全のポイントを設けて、生徒が作業をする中で怪我をしないように配慮している。 <p>【観点4】写真、図表、資料等が適切であり、他の学習内容との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色遣いやフォント、余白のバランス、図の見易さなどが工夫され、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・ 学習の項目ごとに他教科や小学校との学習の関連を図りながら、学習が進められるように配慮されている。 ・ 中扉は社会で利用されている技術の写真やイラストを大きく配置することで、生徒に技術への興味・関心を引き出させるよう配慮されている。 ・ ハンドブックが付属しており、工具や用具、栽培例などが記載されている。

教科書名 出版社名	特 徴
技術・家庭 技術分野 開隆堂	<p>【観点1】技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスにおいて項目を5つに分類し、技術の役割から技術の見方・考え方をより具体的に示して理解しやすいように工夫されている。 ・よりよい生活や持続可能な社会を構築するため、材料の加工に必要な種類と特徴をあげ、資源の再利用など有効活用した内容を取り上げている。 ・実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように、よく工夫されている。 ・各内容の最後では、社会や環境と技術とのかかわりについての理解に基づき、技術の在り方や活用のしかたを客観的に判断・評価し、主体的に活用しようとする態度が育めるようになっている。 ・各内容の出口では、これからの技術について考えさせられるような話題が取り上げられており、将来的にも技術に関心や課題意識を持てるようになっている。 <p>【観点2】問題解決的な学習が進められるよう配慮されており、生徒の興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「設計」という技術の特徴的な問題解決的な学習について、分量を増やし丁寧に取り扱われており、主体的な課題解決の手法を学びやすい。 ・各内容の知識・理解を深める初段階に多くのページを配置し、適切な概念形成を指導できるような配慮が見られる。 ・各内容は、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、問題解決的な学習が展開でき、系統的な学習が進められるように工夫されている。 ・各内容で具体的な製品からしくみなどを考えるようになっていて、興味を持って学習できるようになっている。 <p>【観点3】実習例、課題の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各項目の利用技術、問題解決の手順、これからの技術となっていて、見通しのある学習構成となっている。 ・生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを十分考慮して範囲や程度が定められており、各内容の系統性にも配慮されている。 ・実習例は、基本となる実習から参考・応用的なものまで、生徒がいずれも関心と意欲をもって取り組めるような多様な例が扱われていて適切である。 ・内容は全体として系統的・発展的に組織されており、分量や配分は、授業時数や多様な指導計画などに適応できるように考慮してまとめている。 <p>【観点4】写真、図表、資料等が適切であり、他の学習内容との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や図表が適切に示され、中学になって初めて学習する生徒でも分かりやすい内容となっている。 ・写真や図版は分かりやすく、必要な箇所では、生徒があたかも自分が作業をしているように見えるアングルで撮影した写真や図版が使用されているなど、理解を促すための工夫がよくなされている。